

地域密着型金融の推進計画

期間：平成28年4月～平成30年3月（2年間）

平成28年5月13日
株式会社 静岡中央銀行

目 次

- 1. 地域密着型金融の取組み基本方針 …… P 2
- 2. 地域密着型金融の重点施策及び
具体的取組み …… P 3
- 3. 数値目標 …… P 5

経営理念「堅実で健全な経営」

- 当行は、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、「お客様中心主義」の銀行経営により、地域と共に成長し、地域金融機関としての企業価値を高め、お客様・地域社会のベストパートナーとして信頼される銀行を目指します。

第11次中期経営計画【進化】～現状打破への挑戦～ 基本方針「お客様中心主義の進化」 ～ロイヤルティの高いお客様の拡大～

- 行動指針「Change（改革）& Challenge（挑戦）」のもと、「お客様中心主義」を“原点回帰”と“マーケティング活動の強化”により進化させ、お客様のニーズに合った商品・サービスをこれまで以上に迅速に提供し、取引を拡大する。

「中期経営計画」＝「地域密着型金融」として積極的に推進

- ◎ 地域と連携し、地域経済活性化、地方創生に貢献する取組みを実践。
- ◎ 地域金融機関として、“地域と共に持続的な成長”を目指す。

～お客様・地域社会のベストパートナーの実現に向けて～

マーケティングを強化して、お客様を掌握、事業性評価向上を図り、中小企業への円滑な資金供給、専門性への対応力アップ等、コンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

1. 事業性評価向上による顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 事業性評価向上

- ① 工場見学、本業支援ヒアリングシート活用による事業内容掌握、目利き力向上
- ② 貸出期日管理による「訪問頻度管理」活用レベル向上
- ③ 研修の充実（内部研修に加え、外部講師・外部研修活用）

(2) 創業・新事業、事業承継支援

- ① 創業・新事業に係る制度融資や補助金の積極活用
- ② 事業承継・相続の情報収集（自社株保有状況等の情報収集）と関与推進 ⇒ 専門性への対応力アップ
- ③ 外部機関（日本政策金融公庫、事業引継ぎ支援センター、商工会、商工会議所、産業振興財団等）との連携強化

(3) 成長分野（医療介護等）支援

- ① 医療介護分野の推進 ⇒ 地域力創生ファンド活用、介護施設サポートサービス活用、専用ローン開発検討等
- ② 環境分野（太陽光発電事業等）の推進 ⇒ 審査役の目利き力向上、営業店サポート態勢強化

(4) 製造業を中心とした新規需要後押し ～補助金活用による新規需要を後押しする営業支援～

- ① 各種補助金（ものづくり等）の活用
- ② 製造業向け専用ローン（ものづくりサポートローン）の推進
- ③ 取引先の海外進出ニーズへの後押し ⇒ 外部機関（静岡県国際経済振興会等）との連携強化、各種情報提供等
- ④ ビジネスクラブセミナー開催による顧客交流、各種情報提供による販路開拓支援等
- ⑤ ABL等個人保証に過度に依存しない融資の推進、経営者保証に関するガイドラインの円滑な運用 ⇒ 目利き力の強化

(5) 経営改善・事業再生支援 ～営業店サポート体制の充実～

- ① 本支店一体となった再生計画策定支援、再生支援活動のスピードアップ
- ② 外部機関との連携強化（REVIC、税理士、再生支援協議会、再生ファンド等）、認定支援機関としての機能発揮

2. 主体的な取組みによる地域経済活性化への貢献、地域の面的再生への積極的な参画

(1) お客様ニーズの収集と迅速な対応

- ① マーケティング強化による地域・お客様に喜ばれる商品・サービスの開発と商品性の見直し
- ② ベターサービスノートによるお客様の意見・要望・苦情等の吸収と各種施策への反映
- ③ 女性営業全店配置による店周先ニーズの収集と迅速な対応

(2) 地元商店街等の活性化・地域ニーズの高い商品・サービスの提供

- ① 地域貢献定期預金（お買い物券付定期預金・地産地消定期預金等）の推進
- ② 地域経済活性化に資する商品・サービスの提供
- ③ 相続・高齢者向けお客様相談、年金関連・相続・教育資金等支援サービスの充実
- ④ 金融犯罪防止（振り込め詐欺被害、インターネットバンキング不正払出被害等）、反社会的勢力の取引排除強化
- ⑤ CSローン推進

(3) 地域に根差した地域貢献活動の拡大

- ① スポーツを通じた学童支援 ⇒ 静岡県（学童軟式野球大会）だけでなく神奈川県の学童支援検討
- ② 富士山フォトコンテストの継続実施、富士山カレンダーの充実
- ③ エリア別・支店別地域貢献活動の充実 ⇒ 地域イベント積極参加
- ④ 地方公共団体等との連携強化・協定拡大（地方版総合戦略への積極的な関与）
- ⑤ 金融知識の普及 ⇒ インターンシップ、親子体験教室等

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(1) 「地域密着型金融推進計画」の策定・取組状況等の公表、お客様目線に立った分かりやすい情報発信

- ① 計画の策定・取組状況をホームページ上で公表、「お客様アンケート」結果をホームページ上で公表
- ② ホームページ、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌等の充実

3. 数値目標（2年間）

項目		目標		
1	事業性評価向上によるお客様に対するコンサルティング機能の発揮	(1) 本業支援ヒアリングシート活用先の増加	600先	
		(2) 中小企業等向け融資支援	150億円増加	
			比率92%以上	
		(3) 中小企業取引先数の増加	700先	
		(4) 創業・新事業融資支援	50件	
		(5) 事業承継支援	20件	
		(6) 成長分野への融資支援		
		① 「環境・エネルギー事業」分野	20億円	
		② 「医療介護」分野	100億円	
		③ 「地域力創生ファンド」による支援	100億円	
		(7) 新規融資支援		
		① 各種補助金受付支援	100件	
		② 「製造業」取引先の増加（中小・零細企業主体）	50社	
		③ 動産・債権譲渡担保（ABL）融資先の増加	10社	
④ ものづくりサポートローン、ベスト融資取組額	40億円			
⑤ クレジットラインリリーフ増加額（通期平残）	10億円			
⑥ 消費者ローン増加額（通期平残）	30億円			
(8) 外部機関と連携した支援先（新規連携先数）	30社			
(9) ファンドやDD Sを活用した抜本的な再生支援	5社			
(10) FP資格取得	60名			
(11) 金融窓口サービス資格取得	60名			
2	主体的な取組みによる地域経済活性化への貢献、地域の面的再生への積極的な参画	(1) 「地域貢献定期預金」の取扱い	10地域取扱	
		(2) 相続マイスター資格取得		
		① 相続マイスター	10名	
		② 相続マイスター（ジュニア）	40名	
		(3) 相続・ご高齢のお客様への対応		
		① お客様相談の受付	2,800件	
		② お客様セミナーの開催	20回	
③ 営業店向け出張講座開催	60回			
(4) インターンシップの取組み	年4回以上開催			
3	地域や利用者に対する積極的な情報発信	—		